

**大阪府立狭山池博物館  
大阪狭山市立郷土資料館**

飛鳥時代に敷葉（しきは）工法を用いて築かれた狭山池の堤は、改修を繰り返して現在まで使われ続けてきました。建物に入ると目の前にそびえたつ堤の断面は、約1400年の歴史を一見でき圧倒されます。

市立郷土資料館では市内に残る貴重な文化財や暮らしの道具等の特別展や常設展示を行っています。

■利用時間：午前10時～午後5時  
（入館は4:30まで）

■休館日：毎週月曜日  
（祝日の場合は翌日）  
年末年始

■問い合わせ：072-367-8891



**富田林市**

**お散歩MAP**

**大阪狭山市**

©大阪狭山市商工会 2010

**富田林市・寺内町**

寺内町とは真宗の寺院を中心に堀や土塁で防御した町をいいます。富田林寺内町は、永禄初年（1558-1561）京都興正寺の証秀上人が荒れた芝地を銭百貫文で購入し、近在の4つの村から8人の有力者を集めて、興正寺別院を建立し8人衆の合議制のもと、この御坊を中心に作られました。

その後、江戸時代には幕府の直轄地となり、商売の町として発展しました。

また、城之門筋から旧杉山家住宅にかけては、町並みがよく残っているということで国の「重要伝統的建造物群保存地区」の選定を受けています。今も人々が生活の場として暮らしながら、歴史を今に伝えています。



近鉄電車長野線

**バタフライガーデン**



ジャコウアゲハ  
モンキアゲハ  
アオシジメ  
アキアゲハ  
ツマグロヒョウモン  
ホシミスジ  
アカタテハ

**虫籠窓(むしこまど)**

屋根裏部屋の明かりとりと、風通しの為に設けられたものです。江戸時代の木瓜型・幕瓜型、幕末には扁平型、明治時代には長方形と型が変化しました。

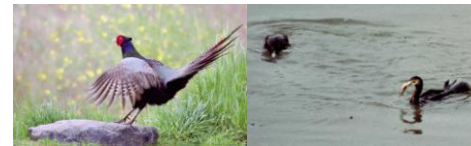


**あてまげの道(当て曲げの道)**

戦国時代の自治・自衛のために、交差する2つの道路をわずかにずらすことで、遠方がまっすぐに見通せない構造です。



**野鳥たちの世界**



アオアシシギ/アマサギ/オナガガモ/カルガモ/  
カワウ/キジ/ゴイサギ/コサギ/コチドリ/  
ジョウビタキ/セイタカシギ/ダイサギ

**煙出し**

かまどの煙を外に出すためにつけられた越し屋根です。



**旧杉山家住宅(重要文化財)**

寺内町の創設期からの旧家で、代々造り酒屋を営んでいました。歌人、石上露子の生家です。  
開館時間：午前10時～午後5時  
月曜休館

※月曜祝日の場合はその翌日が休館  
入館料：大人400円 小人200円  
(20名様以上2割引)

◆問い合わせ◆  
富田林市教育委員会 文化財課  
TEL 0721-25-1000



**興正寺別院**  
寺内町の中核寺院。重厚な門は伏見城の門の一つを移築したものです。

見学者駐車場  
(市役所第3駐車場)

**バタフライガーデン**



**大阪狭山市・狭山池**

狭山池は、飛鳥時代に農業用水の安定供給の為に誕生した日本最古のため池で、約1400年の歴史が息づく文化遺産です。「古事記」「日本書紀」にも築造に関する事柄が記載されています。現在に至るまで数回の大改修が、僧の行基や重源などの指揮により行われています。

平成の改修では、狭山池周辺に、池を周遊する遊歩道や広場、東屋などが設置され、水と緑の空間として親しまれています。遊歩道には、早咲きのコシノヒガンザクラを中心に、ウコン、カンザン、シダレザクラなどの桜を植栽し、桜の名所として親しまれています。

南堤には干潟を再生し、野鳥などの生息空間を創出しています。今では、90種類を超える野鳥が観察され、アマサギ、キンクロハジロ、セッカといった珍しい野鳥も訪れます。

